

令和2年度 いわき野球連盟大会運営について

1. 試合方法について

- (1) 今年度より、トーナメント戦の場合、各大会について前年度の1～4位のチームをそれぞれ第1～4シード位置に固定し、その他のチームをフリー抽選とした組合せで試合を行う。
- (2) 天皇賜杯のみ9回戦とし、その他の大会は全て7回戦とする。
- (3) 試合制限時間を1時間30分とするため、1時間20分を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は抽選とする。
決勝戦は時間制限なしとする。決勝戦で同点の場合は、0死1、2塁継続打順にてタイブレークを行う。タイブレークは最大2イニングとし、それでも決まらなければ抽選とする。
- (4) コールドゲームは、9回戦においては5回10点差、7回7点差とする。7回戦においては5回7点差とする。決勝戦も適用する。

2. 試合上の諸注意

- (1) 大会当日1試合目のチームは、試合開始予定の1時間前までに球場に到着していること。
- (2) 大会当日2試合目以降のチームは、試合開始予定の1時間30分前までに球場に到着していること。⇒棄権チームがあった場合等、試合開始が予定より1時間～1時間30分前になることもある。
- (3) 大会当日1試合目のオーダー交換は、試合開始予定の30分前に行う。大会当日2試合目以降は、前の試合の4回終了時とする。(前の試合がコールド等の場合は審判判断とする。)
- (4) オーダー交換時に各チーム、試合球を2個提出すること。フェール等で紛失した場合は、そのチームで再提出すること。
- (5) 年度初めの選手登録について人数の上限はないが、各大会への出場は20名までとし、その大会中の試合は当該大会初戦のオーダー表に記入された選手のみのお出場とする。(同一大会中に20名のうちのいずれかを他登録者と入れ替えることはできない。)
いわき予選を勝ち抜いて上位大会に出場する際のメンバーは、同チームの登録者であればいわき予選のメンバーと同一でなくてもよい。
- (6) 大会中のベンチに入ることができるのは、上記(4)の者、チーム責任者、マネージャー、スコアラー等のみとする。
- (7) 今年度は久之浜グラウンドも利用する。住所→いわき市久之浜町金ヶ沢字北磯脇 29-2

3. 登録・連絡方法等について

- (1) チームおよび選手の登録は3月末日を一次締切とするが、最終変更の受付は4月末日とする。それ以降の追加登録は一切認めない。
- (2) 試合順延や中止等の連絡は、原則として連盟から各チームへの電話での連絡は行わない。各自、いわき野球連盟のホームページで確認すること。
- (3) 試合棄権等の連絡は、当日の緊急時を除き、ホームページの「お問い合わせ」(メール)で行うこと。
- (4) 来年度のチーム登録等も含め、電子メールや電子データを活用するので、各自、メールやホームページの確認を確実に行うこと。
- (5) チームの代表者や連絡者の連絡先(アドレス、住所、電話番号)が変更になった場合は、速やかに事務局まで連絡をすること。

4. 各種上位等大会参加資格について

- (1) 国民体育大会・県総合体育大会(成人)いわき支部予選
⇒ Aクラス3チームと、前年度の東日本1部・2部いわき予選ベスト4の各4チーム、合計11チームとする。ただし、県強化チームはいわき支部予選を免除する。
- (2) いわき選手権大会
⇒ Aクラス3チームと、高松宮1部・2部いわき予選ベスト4の各4チームおよび、いわき野球連盟推薦チームの合計16チームとする。
- (3) 水戸市長旗東日本選手権大会いわき支部予選
⇒ Aクラス3チームの中から連盟推薦とする。(参加資格がAクラスのみのため)
今年度の推薦チームは未定。
- (4) 海野杯軟式野球大会
⇒ 前年度のいわき選手権大会の優勝チームとする。
※いわき選手権大会が実施できなかった場合は、連盟推薦とする。
今年度は、株式会社タンガロイを推薦。
- (5) 福島県野球連盟会長旗大会
⇒ 前年度のいわき選手権大会の準優勝チームとする。
※いわき選手権大会が実施できなかった場合は、連盟推薦とする。
今年度は、アルプスアルパイン株式会社を推薦。